

〔適切な作業機で安定した出芽を一直播てんさいの簡易耕一〕

直播てんさいでのプラウ耕省略（簡易耕）

【導入される目的】：耕耘整地作業時間の短縮

【課題】：麦類跡における施工性や
播種精度及び出芽率の向上

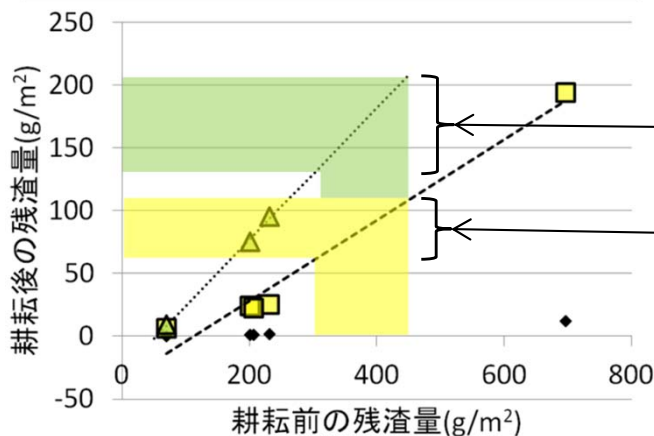
⇒ 残渣に適した作業機及び播種機の組合せと
労力の削減程度は？

●高速ディスクハローによる耕耘前後の残渣量



例) AMAZONE社製
CATROS3001

◆ プラウ+ロータリ □ 高速ディスクハロー ▲ チゼル



麦稈回収後の一般的な残渣量※)
(300~450g/m²) に対する
耕耘後の推定残渣量

チゼルプラウ
: 130~200g/m²

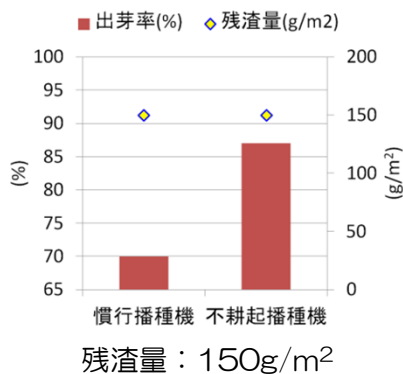
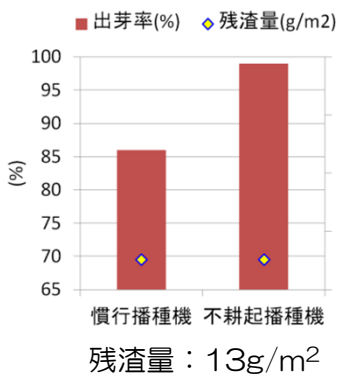
高速ディスクハロー
: 60~100g/m²

高速ディスクハローで多くの残渣が埋没

※) 『北海道緑肥作物等栽培利用指針(改訂版)』

高速ディスクハロー（例：カトロス3001）作業幅：3m、作業速度：11~15km/h
トラクタ所要動力：90PS（高速作業には最低100PS程度が必要）
耕耘後の残渣量は少なく、砕土率とともに優れる

●不耕起播種機（輸入真空播種機）による残渣存在下での出芽率



不耕起播種機（輸入真空播種機）は、
慣行播種機よりも残渣の影響が小さい



例) MASCHIO GASPARDO社製
真空播種機

●燃費と作業時間

耕耘法	播種機	燃料消費量		作業時間	
		(L/h)	慣行比 (%)	(分/ha)	慣行比 (%)
高速ディスクハロー	不耕起播種機	11.3	38	62	32
高速ディスクハロー	慣行播種機	9.7	33	103	53
プラウ、ロータリ	慣行播種機	29.8	100	193	100

高速ディスクハロー+不耕起播種機で燃費、
作業時間ともに約7割削減可能

◎麦類跡圃場では
「高速ディスクハロー+不耕起播種機」が適用可能

◎燃費、作業時間とも約7割削減可能

注) 排水対策は別々に実施することが必要
(その他、栽培上の指針は慣行の直播体系に準ずる)